



～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～ 【災害に備えて、備えあれば憂いなし・・・】

雪解けとともに春の風が津軽海峡を渡るようになり、役場庁舎前の高遠小彼岸桜は、今年も満開の花を咲かせ、通る人の心を和ませてくれました。

3月5日(木)に、一般社団法人 日本ムービングハウス協会と「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定書」を締結いたしました。

この協定の締結により、もし、福島町で災害が発生した場合は、被災された方々の応急仮設住宅として移動式木造住宅を優先的に建設し、避難生活の早期解消や健康被害の軽減を図ることが可能となります。

また、町では災害時に使用するトイレカーも令和7年度に購入しており、災害が発生した場合にはどこへでも迅速に移動し、避難所などで使用できるトイレを確保しております。

「備えあれば憂いなし」とは、平生(日頃)から準備を万全にしておけば、もしもの事態が起こったとしても、少しも心配することはないという故事成語ですが、災害に向けて備えておく必要性を説いている言葉とも読み取れます。

3月6日(金)、東京の衆議院第二議員会館において、「第2青函トンネル建設プロジェクト推進議員連盟」の勉強会が開催され、第2青函トンネル構想を実現する会から私と溝部議長および石岡商工会長が参加をさせていただきました。

勉強会では、幹事長の津島淳内閣府副大臣・衆議院議員(青森県選出)、中村裕之衆議院議員をはじめ向山じゅん衆議院議員など北海道および青森県選出の衆・参両院議員の方々が出席をしました。加えて、国土交通省から鉄道局および道路局の職員も出席をされています。

意見交換会に先立ち私の方から当町のこれまでの取り組み、活動状況などを報告させていただき、意見交換をしてみました。

引き続き、青森県今別町と連携を図り当議員連盟のご支援をいただきながら第2青函トンネル構想の実現に向けた活動を積極的に展開してまいりますので、町民の皆さま方のご理解とご支援をお願いいたします。

3月10日(火)～12日(木)の3日間、定例会3月会議および予算審査特別委員会が開催され、令和8年度の予算審議をいただき、無事承認をいただきました。

また、10日には夜間議会が行われ、一般質問などにおいて、さまざまなご意見をいただきましたので、今後の町政推進に反映してまいります。夜間議会へは福島商業高校の生徒さんたちも傍聴に来ていただきました。

3月22日(日)に、長崎県松浦市の合併20周年記念式典にお招きをいただき、出席をしてみました。松浦市は旧福島町と長野県木曾福島町(現木曾町)との福島町名がご縁で友好締結しております。

また、4月8日(水)には、新しく就任した加藤木曾町長が当町を訪れ、意見交換をさせていただきました。引き続き、友好3市町のそれぞれのいいところを取り入れ、友好の絆を深めてまいります。

3月30日(月)、福祉センターにおいて福島吉岡漁業協同組合の総会が開催され、お招きをいただき出席をしてみました。昨年の組合の業績は、養殖昆布やウニなどが高値で推移した関係で、大変好調な実績となっております。先人たちの努力に感謝し、今年の豊漁を期待いたします。